

平成 23 年 5 月 11 日
ニッカ航空サービス株式会社
地域観光研究所

旅行業界関係者とともに、被災地でボランティアを実施
台湾観光協会が主旨に賛同して協賛

ニッカ航空サービス株式会社と地域観光研究所は 5 月 13 日、旅行業界関係者とともに東日本大震災の被災地で災害ボランティア活動を行います。また、今回の活動には台湾観光協会が主旨に賛同し、協賛をいただくこととなりました。

この活動は、同研究所が観光による被災地支援策として企画した、東日本大震災応援アクションプラン「ひと手ひと声プロジェクト」の一環として実施するもので、5 月 13 日から 15 日までの 3 日間。参加者は、呼びかけに賛同した旅行業界関係者と一般参加者の計 30 名。

参加料は、宿泊費（1 泊 2 食）・保険加入料を含め一人 6,000 円。これは被災地を継続して支援するためには参加者の負担を軽減する必要があるため、今回は台湾観光協会の協賛により実現しました。同社では、「今回の震災で旅行業ができることを一緒に考えるきっかけとしたい」（鈴木東京支店長）と語っています。

地域観光研究所では、「観光に携わる業界の方々が直接被災地域を支援することは、地域の現状を知るだけでなく、観光の社会的価値を見直すことにもなる」（高梨洋一郎所長）として、今後も旅行・観光業界に対して積極的な参加や協力を呼びかけていく予定です。また、今後もボランティアツアーの実施を毎月 1 回程度の割合で継続して実施するほか、被災避難所での映画上映会、子どもたちとの交流会など、中長期的に被災地を応援する施策を実施する予定です。

東日本大震災応援アクションプラン「ひと手ひと声プロジェクト」

<http://ctl.travelab.jp/project/index.html>